

京都女子大学×UR

洛西NTリノベーションプロジェクト

STYLE 2015



Project

京都で団地に住もう

40年程前、洛西ニュータウンがまさに「新しいまち」であったころ、
古都京都の伝統や文化とは異なる生活スタイルを求めて、たくさんの若い家族がこのまちに移り住んだ。
周辺に残る多くの自然、のびのびとした外部空間、慣習にしばられないコミュニティ...
伝統的な京都とこのまちは、コインの表と裏だったのだろう。

洛西で、新たな取組みが始まる

私たちが最初にこのまちを訪れたのは2013年。
緑と光と風のまち...それが第一印象だった。
積み重ねた年月の分、成熟したまちとしての印象が強かった。
このまちには、もっと「新しいスタイル」の住まいが必要だ。
こうしてプロジェクトは始まった。



リノベーションコンセプト

私たちは、良いところは残しながら、変えるべきところを考えた。

例えば、光。たっぷり降り注ぐ光を、これまで以上に室内の隅々に届けた。

例えば、風。緑の香りが南から北へ通り抜けるように壁を取り払った。

例えば、色。自然に溶け込みつつもアクセントとなるようセレクトした。



団地の「これから」

私たちがイメージする新しい住人は、こんな人たちだ。

デザインにちょっとこだわりのある人、ナチュラルな暮らしを指向する人。

そして私たちと、これからの団地をつくってくれる人。

住人とURと私たち、皆で団地の未来を考えたい。

Story



女性目線の
オシャレな住宅の提案



DIYを行い
団地の活性化を図る



部屋だけでなく
地域の繋がりも大切に



2013
start

2014



若い世代に親しまれる
ことを目指して
京都女子大学×URがスタート



好評につき
同じ間取りが
繰り返し供給される



アイデアを形にする。それぞれが取り組んだ精一杯。

そして引き継がれる。新たなラインナップが加わり次のステージへ

4月
説明会
style2015プロジェクト開始



8～10月
現場打合せ



2015



7月
コンペ開催
表彰式



11月
冊子づくり
モデルルームづくり



12月
完成
お披露目

Chapter 01



整える暮らし

Concept 暮らしの導線上にある収納スペース。整えることで、より日常を楽しく、豊かになるように三つの収納スペースを。

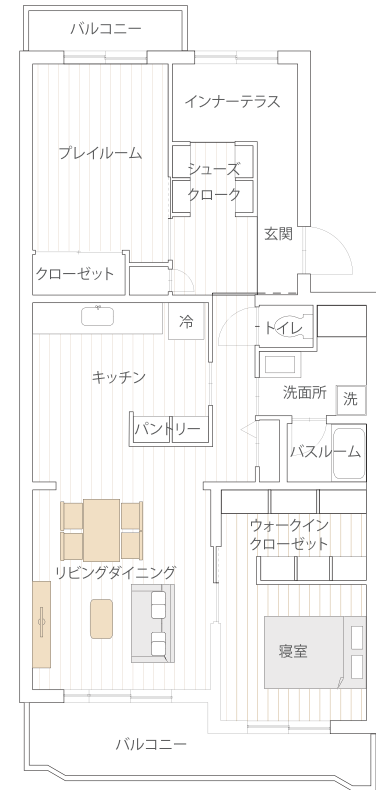
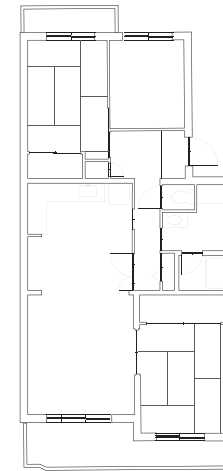
1. たっぷりの光を取り入れた明るいリビング。キッチンには大容量のパントリーを設置。
2. デザイン性にもこだわり、パントリーの背面をアクセント壁に。
3. 洋室の白い壁の奥にはウォークインクローゼット。
4. 自由に高さを変えられる可動棚。ライフスタイルに合わせて収納も自由自在に。
5. 玄関の奥に広がる、自分流のカスタマイズが楽しめるインナーテラスと有孔ボード。
6. ゆったり収納できる壁一面の大容量シューズクローク。
7. 暮らしの質を高める多彩な収納スペース。
8. キッチンに隣接したパントリー、移動棚でスッキリ魅せ収納。

竹の里 2LDK+WIC



Before ⇨ After

住戸専有面積: 77.75㎡
バルコニー面積: 11.29㎡



Chapter 02



空間を彩るアクセント

Concept 各部屋のアクセント壁がポイント。間取りを変え、光を取り入れ、家族団らんが楽しめる。飽きないオシャレな空間へ。

1. アクセント壁を取り入れ、暖かみのあるリビングルームに。
2. 化粧梁に埋め込まれた照明が明るい光を食卓に運んでくれる。
3. スリットから漏れる光。人の気配が感じられる廊下。
4. 寝室の奥にひっそりとした特別な空間が。仕事や勉強の場に。
5. 木のぬくもりが感じられるアクセント壁。光を取り入れ明るく広い玄関へ。
6. ホワイトが基調の明るく清潔感のある洗面台。

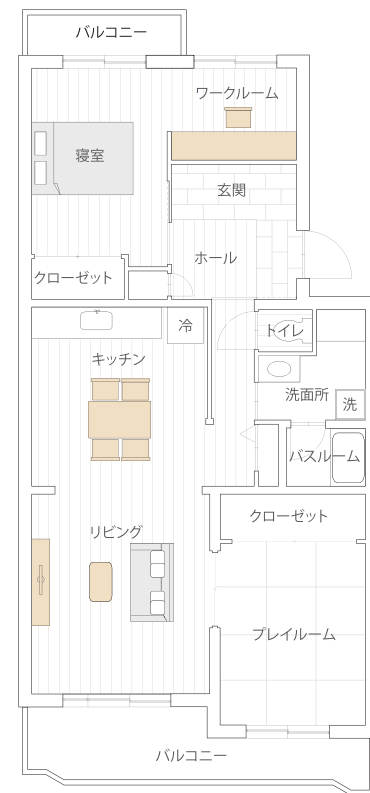
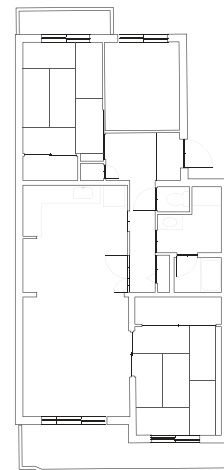
竹の里 2LDK



4

Before ⇨ After

住戸専有面積: 77.75㎡
バルコニー面積: 11.29㎡



Living



Kitchen



5



6

Chapter 03



光と風がとおる家

Concept 室内に窓を設けることで、光と風が部屋全体をとおり抜ける。
住戸内の暗いイメージを振り払い、明るく賑やかな暮らしを提案。

1. リビングと寝室の間に光と風を通す小窓を設置することで、住戸全体が明るい印象へ。
2. 豊富な光で明るい寝室に。小窓の上下部には壁面収納を配置。
3. リビング南側の窓からは、あたたかい光が差し込む。
4. 室内窓やガラス付きドアから光が差し込み、明るい玄関ホール。
5. 利便性を兼ね備えたスタイリッシュな洗面台に。
6. 洋室と玄関ホールをつなぐ小窓が、光と風を通し開放感を演出。
7. くつろぎのリラックススペース。

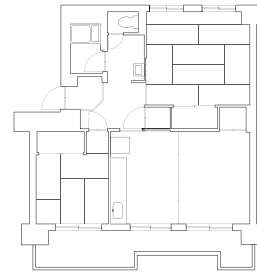
新林北 2LDK



4



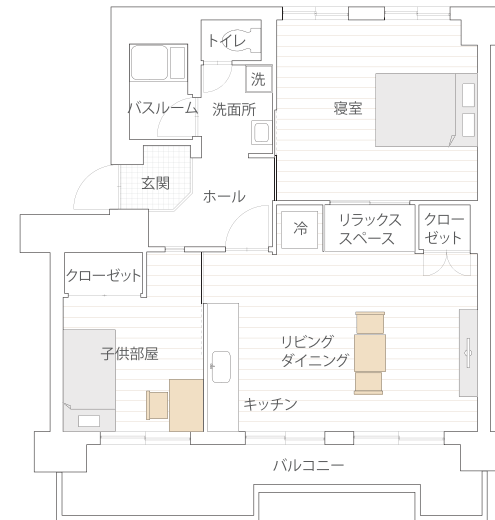
5



Before ⇨ After

住戸専有面積: 61.94㎡

バルコニー面積: 10.81㎡



Living dining



Bedroom/Living



6



7

Chapter 04

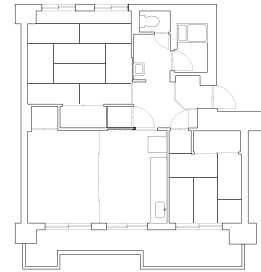


up to you

Concept「空間を彩る」をコンセプトに、男女ともに暮らしやすいL字型机と吊り棚、緑のマグネット壁がこだわりの空間である。

1. 大空間のリビングダイニング。その一角には造り付けのワークスペースが。
2. 空間を彩る緑のマグネットウォール。写真などで飾って。
3. マグネットウォール上部には、機能性にもこだわった収納スペースを確保。
4. ホワイトの壁面が、ダイニングをより明るい空間へ。
5. 丸鏡と四角い洗面台がスタイリッシュな空間を演出。
6. 扉を開ければ、広い玄関ホールがお出迎え。
7. 料理を楽しく、お手入れも簡単なシステムキッチンを採用。

新林北 1LDK



Before ⇨ After

住戸専有面積：61.94 m²

バルコニー面積：10.81 m²



Living



Washroom



Message

整える暮らし ▷▷▷ 黒瀬智奈美・小倉綾乃(4回生)

学長賞



黒瀬智奈美



小倉綾乃

はじめのイメージになるべく近いものにしたかったので、壁紙の色や棚の素材選びにはこだわりました。3つの収納スペースの空間作りでは、細かい寸法や構造など、何度も打ち合わせを重ねて慎重につくりました。

空間を彩るアクセント ▷▷▷ 江崎万里子・片山里香子(3回生)

優秀賞



江崎万里子



片山里香子

リビングの壁紙は予算を考慮しつつ、アクセントになるよう何度もプランを変更し、実寸大で色味やデザイン性を確認しました。梁の中に照明を埋め込むための提案も、実現させるのに苦労しました。

光と風がとおる家 ▷▷▷ 石田夕貴・杉森みなみ(4回生)

優秀賞



石田夕貴



杉森みなみ

室内窓を設けることで光と風が部屋を通り抜けるよう設計したプランです。窓の形、大きさ、ガラスの材質等とはくにこだわり、何度も現場で打合せを重ねました。デザインと機能性のバランスをとるのが難しかったです。

up to you ▷▷▷ 佐藤優香・山本奏(2回生)

優秀賞



佐藤優香



山本奏

一番苦労したのはマグネット壁の再現です。床材とのバランスを考え、色味、質感共に上品なアクセントになるよう試行錯誤を繰り返しました。壁紙や小物を多くの種類の中から選択するのは難しかったです。

Picture▷▷▷



京女
×
UR



井上えり子
(生活造形学科 准教授)

学生達に貴重な機会を与えて下さったUR関係者の皆様、丁寧にサポートして下さいました各専門家の皆様、叱咤激励して下さいました居住者の皆様に、厚くお礼申し上げます。



増田翠
(大学スタッフ)

以前は学生として参加し、今回はサポート側として関わらせて頂きました。立場が代わり大変な事もありましたが、こだわりの詰まった住戸ができたかったです。

大変お世話になりました。



安野明男

UR西日本支社技術監理部長。
コンペのときにはそれぞれの作品に丁寧に
コメントしていただきました。



大谷俊則

URリンケージのスタッフさん。片岡さんと
ともに、設計案を実現化させるため、
たくさんアドバイスをいただきました。



林 忠行
(京都女子大学 学長)

学生によるUR賃貸住宅の提案です。
皆さん一人ひとりの暮らしをそこに重ね合わせて、
新しい生活スタイルを思い描いてみてください。



菊池浩史

UR西日本支社京奈エリア経営部長。
私たちが次々行う団地居住者さんとの
イベントを暖かく見守ってくださいました。



松本勲武
藤原正治
大橋恵一郎

2013年から引き続きお世話になった施工会社
JSの責任者さん。現場での打合せにずっと
お付き合いいただき、技術的な内容を丁寧に
説明してくださいました。



関真司

UR担当者さん。プロジェクト全般のまとめ役。
最後のほうは毎日のようにお会いする日も...。
全力でサポートしてくださいました。



濱 美咲 小田武八
奥村千賀子 安井裕勝

JS担当者さん。私たちが現場で決めきれず、
施工にしわ寄せがいったのを何とか
リカバリーしていただきました。



片岡有吾

UR設計担当者さん。現場では、私たちが
やりたいことを実現させるために、粘り強く
待ち、アドバイスし続けてくださいました。



竹の里施工スタッフ

現場から技術的なご意見・アドバイスを
たくさんいただきました。特に竹の里では
施工を止めてしまうことがしばしばあり、
本当にご迷惑をおかけしました。



山縣雄也

UR担当者さん。年齢が近いお兄さんの存在。
いつもやさしく現場を和ませてくださいました。



新林北施工スタッフ

現場から技術的なご意見・アドバイスを
たくさんいただきました。室内窓やマグネット
壁の素材感にこだわった私たちのイメージ通り
に仕上げてくださいました。



坂浩一 竹市道秋

UR技術スタッフさん。例えば照明の細かい
位置にもこだわって助言くださるなど、技術的
なアドバイスをたくさんいただきました。



大広スタッフ

広告代理店さん。このストーリーブックでは、
タイトなスケジュールにもかかわらず密度濃く
アドバイスしていただきました。



江崎万里子



片山里香子

初めての冊子作りは、悩むことばかりでした。
プロジェクトに参加したからこそ、住戸に対する
思い入れも強く、こだわりをもって作成しました。
私たちが手がけた住戸が、多くの方々に知って
もらえたら嬉しいです。

最後に、
このページに掲載しきれなかった多くの関係者の皆さん、
私たちの作品を素直に撮ってくださったカメラマンの
平野愛さんにも感謝いたします。
本当にありがとうございました。



京都女子大学×UR

洛西NT団地リノベーションプロジェクトStyle2015

対象物件

[洛西新林北] 京都府京都市西京区大枝西新林町2丁目1番地 他

[洛西竹の里] 京都府京都市西京区大原野東竹の里町2丁目1番地

本プロジェクトに関する詳細は下記URLをご覧ください。

京都女子大学 <http://www.kyoto-wu.ac.jp/gakubu/kasei/zoukei/index.html>

UR都市機構 西日本支社 <http://www.ur-net.go.jp/kansai/kyojo>



発行元 独立行政法人 都市再生機構 西日本支社

〒536-8550 大阪府大阪市城東区森ノ宮1丁目6番85号

発行 2015年12月

* 本冊子に掲載している図面は生活スタイルをイメージして家具等をレイアウトしたイメージイラストであり写真は家具、什器、小物等を配置したモデルルームのものです。

* 掲載の図面と実際の住戸が異なる場合は現状を優先させていただきます。

家具、什器、小物等は玄関ホール、廊下、洗面所、浴室、トイレの照明を除き標準仕様には含まれておりません。

*この冊子は、京都女子大学の学生が作成したものです。